

第503回 IBC番組審議会

1. 開催 日時 平成17年10月28日(金)午前11時

2. 開催 場所 デジタルセンター3F Dホール

3. 委員の出席

委員総数	11名
出席委員数	6名
出席委員の氏名	
委員長	吉沢 正則
副委員長	田代 高章
委員	熊谷志衣子 小松 務
	澤口たまみ 宮澤 徳雄
欠席委員の氏名	阿部 价男 高橋 健悦
	中原 志郎 米谷 春夫
	矢佐 俊幸

会社側出席者

小西 隆昭	代表取締役社長
阿部 正樹	代表取締役専務
川島 敬司	常務取締役
柴田 継家	報道局長
川上 隆	ラジオセンター長
鎌田 英樹	テレビ編成局長

事務局

金谷 保彦	番組審議会事務局長
小笠原 勉	番組審議会事務局次長

4. 議 題 『ラジオ・テレビの10月改編について』

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

・「クイズ!日本語王」は、正解だけではなく言葉の意味、もともとの語源

語義にさかのぼって解説してもらえる。意外だなと思って、辞書で確認したり、家族みんなで楽しめる。日本語が乱れていると言われる今、言葉の勉強ができる楽しい番組だ。

- ・最近、子供向けの漫画が少しどぎついものが多い中で、「まんが日本昔ばなし」の再放送は、時間的にも内容的にも、親子で一緒に見る事ができる良い番組だ。
- ・お笑い番組については、若い世代には受け入れられるだろうとは思いつつ、出演者の芸人だけが盛り上がっている自己満足の世界で、個人的には冷めて見る事しかできなかった。
- ・ドラマ「花より男子」は、漫画をドラマ化したもので、全然現実的ではなく、若い人をターゲットにしていると感じた。今回は、大人向けのドラマが少ない印象を受けた。
- ・ラジオは、地域密着型の番組が多い。「童謡」の番組も放送して欲しい。

<社側>

- ・「まんが日本昔ばなし」は、11年ぶりに復活した番組です。その間にも、キー局には、再放送を望む声が多くあったそうです。日本の心を思い起こさせる名作は、今の子供たちの心にもきつと響くだろう、親子で見ることが出来る番組として編成したと聞いています。
- ・童謡・童話はラジオのイメージネーションを掻き立てるメディアの特性からいって、非常に良いソフトだと思います。今後改めて検討していきたいと考えています。

7. 審議会の答申又は改善意見に対してとった措置

指摘された諸事項については、関連部署に伝え、改善すべき点は改善するように指示した。

8. 審議機関の答申又は意見の概要の公表

10月29日(土)の岩手日報に議事概要を掲載

11月4日(金)午後12時55分~午後1時のテレビ番組「番組審議会だより」で議事概要を放送した。

(ラジオは11月5日(土)午前5時50分~5時55分放送)

インターネットのIBCホームページに議事概要を記載した。

9. その他・参考資料

第502回IBC番組審議会議事録

民間放送（1679号～1681号）
BPO報告（28）
放送番組委員会記録（2005.9月）
岩手防災ハンドブック
タイムテーブル